

■米国：カリフォルニア州、2020年のRPS目標を2年前倒しで達成

環境・エネルギーの情報サイトは2019年2月26日、カリフォルニア州の再生可能エネルギー導入量が拡大し、2020年のRPSの導入目標を2年前倒しで達成すると報じた。同州の2020年目標は33%で、太陽光を中心として導入拡大が続いており、2018年の再生可能エネルギー起源の電力（大型水力を除く）の割合は34%に達するとされる。カリフォルニア州エネルギー委員会の報告書では、販売された電力の中で、太陽光の割合が12%を占め大きな割合となっている。これは過去5年で大規模太陽光発電が約5倍となり、屋根置き太陽光発電も3倍増え、太陽光の設備量が約1,900万kWに達したことによる。大型水力を除くRPS対象の再生可能エネルギー全体の設備量は約3,080万kWとされる。なお、2020年以降のRPS目標は2024年の44%である。